

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪バイオメディカル専門学校
設置者名	学校法人佐藤学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	バイオ学科	夜・通信	270 時間	240 時間	
	バイオ技術学科 (昼間)	夜・通信	180 時間	160 時間	
	日本語学科 (2年)	夜・通信		160 時間	※
	日本語学科 (1年6か月)	夜・通信		120 時間	※
	日本文化教養学科	夜・通信		80 時間	※
商業実務専門課程	医療事務総合学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	医療福祉心理学科	夜・通信	240 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.obm.ac.jp/about/history.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	日本語学科 (2年)、日本語学科 (1年6か月)、日本文化教養学科
(困難である理由)	留学生を対象に日本語教育を行う学科であり、実務経験のある教員を配置することが困難である。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪バイオメディカル専門学校
設置者名	学校法人佐藤学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.obm.ac.jp/about/history.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和2年4月27日～ 令和4年4月26日	副理事長
非常勤	医師	令和2年4月27日～ 令和4年4月26日	学校運営に関する 助言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪バイオメディカル専門学校
設置者名	学校法人佐藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>					
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>※授業計画(シラバス)の作成過程 毎学期それぞれの担当科目教員により授業計画(シラバス)を作成し、本校 Web サイトへの掲載を行う。</p> <p>※授業計画(シラバス)の作成・公表時期 前期および通年科目については、前年度の 3 月末頃、後期科目については、8 月末頃に公表する。</p>					
授業計画書の公表方法		https://www.obm.ac.jp/about/history.html			
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>					
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は下表のとおり。</p>					
試験点・平常点	60点	本試験は60点満点で評価する。			
出席点	40点	出席時数が各科目の授業時数の3分の2以上の者に対し、その出席時数に応じて評価する。			
<p>上記総合評価が 60 点以上の者に当該教科の履修を認定し、評価は点数に応じて、下表のとおりとする。令和 2 年度より評価「S」を追加</p>					
総合評価	90 点以上	89 点以下 80 点以上	79 点以下 70 点以上	69 点以下 60 点以上	59 点以下
評価	S	A	B	C	D
可否	合格	合格	合格	合格	不合格

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 GPA制度を採用しており、その算出方法は、令和2年度より総合成績の評定(S・A・B・C・D)に応じて5段階のグレードポイント(以下GP)を設定し(令和元年度は、A・B・C・Dの4段階のグレードおよびグレードポイント)、各履修科目のGPに科目の単位時間数を掛けた値を全履修分合算した上で、全履修科目の単位時間数で割り、小数点第3位以下を切り捨てる。
 各評定とGPの関係は、下表のとおり。

可否区分	評価	評点	グレードポイント
合格	S	100点～90点	4.0
	A	89点～80点	3.0
	B	79点～70点	2.0
	C	69点～60点	1.0
不合格	D	59点以下	0.0
履修取消	-	GPA計算対象外	

客観的な指標の算出方法の公表方法 <https://www.obm.ac.jp/about/history.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
 「為世為人 技器育成」を綱領とし、個性を大切にしながらも技(技術)と心を磨き、他人を支え未来を築く人材の育成を目標としています。
 この目標達成に向け、本校では、教育課程を通じて授与する学位に関して、以下に示した2つの方針に従って、専門士の学位を授与する。

- ・学科に所定の期間在学し、卒業並びに修了に必要な単位時間を習得し、当該学科が定める審査に合格する。
- ・卒業までに、本校学生が、それぞれの学科の教育課程を通じて身に付けるべき以下の能力を習得する。
 1. 専門的な知識
 2. 現場で役立つ技術、特にコミュニケーション、チームワーク、プレゼンテーションの各能力
 3. 磨かれた心、特に他者への思いやり、総合的な経験に基づき問題解決に向け邁進する能力
 それぞれの学科の教育課程で身に付ける専門的知識は、各学科で定める。

卒業の認定に関する方針の公表方法 <https://www.obm.ac.jp/about/history.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪バイオメディカル専門学校
設置者名	学校法人佐藤学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.obm.ac.jp/about/history.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.obm.ac.jp/about/history.html
財産目録	https://www.obm.ac.jp/about/history.html
事業報告書	https://www.obm.ac.jp/about/history.html
監事による監査報告（書）	https://www.obm.ac.jp/about/history.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	バイオ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2550 単位時間/単位	1110 単位時間 /単位	360 単位時間 /単位	3210 単位時間 /単位	4680 単位時間/単位	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	119人	5人	3人	6人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は「試験点・平常点」を60点、「出席点」を40点とし、総合評価は100点満点で算出する。 上記総合評価が60点以上の者に当該教科の履修を認定し、2020年度以降の評定は点数に応じて、90点以上「S」、89点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下「D」とし、59点以下は不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 年間850単位時間以上の習得をもって進級とし、バイオ学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤学園奨学金制度を整備し、進級生の中から成績優秀かつ、他の学生の模範となるなど、総合的に優秀な学生に奨学金を恵与します。 ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。 ・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	35人 (97%)	1人 (3%)
(主な就職、業界等) 医薬品会社・医療機関・環境調査会社・食品会社・化粧品会社・研究機関など			
(就職指導内容) 校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) バイオ技術者認定試験(中級・上級)、環境社会検定、QC検定(3級、4級)など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116人	3人	3%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学校生活不適應・経済的理由など		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・出席不良者への電話連絡・個別面談・保護者との連携 ・スクールカウンセラーとの面談 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	バイオ技術学科(昼間)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	660 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	3240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			4020単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	79人	0人	3人	6人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は「試験点・平常点」を60点、「出席点」を40点とし、総合評価は100点満点で算出する。 上記総合評価が60点以上の者に当該教科の履修を認定し、2020年度以降の評定は点数に応じて、90点以上「S」、89点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下「D」とし、59点以下は不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 年間850単位時間以上の習得をもって進級とし、バイオ技術学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） ・佐藤学園奨学金制度を整備し、進級生の中から成績優秀かつ、他の学生の模範となるなど、総合的に優秀な学生に奨学金を恵与します。 ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。 ・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	22人 (81%)	5人 (19%)
（主な就職、業界等） 医薬品会社・医療機関・環境調査会社・食品会社・化粧品会社・研究機関など			
（就職指導内容） 校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） バイオ技術者認定試験（中級・上級）、環境社会検定、QC検定（3級、4級）など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	2人	3%

(中途退学の主な理由) 進路変更・学校生活不適合・経済的理由など
(中退防止・中退者支援のための取組) ・出席不良者への電話連絡・個別面談・保護者との連携 ・スクールカウンセラーとの面談 など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	日本語学科（2年）				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1600 単位時間/単位	1990 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			1990単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	30人	30人	3人	5人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価は原則として定期試験、課題等により総合的に評価する。 評定は次の通りである。「90点以上：A+」「80点以上：A」「70点以上80点未満：B」「60点以上70点未満：C」、「60点未満：D」で、「D」は不合格。
卒業・進級の認定基準
（概要） 1年目、年間800単位時間以上の習得をもって進級とし、2年目800単位時間以上の習得をもって日本語学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。 ・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	27人 (75%)	9人 (25%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 専門学校・大学への進学、翻訳業、サービス業など			

(就職指導内容) 校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など
(主な学修成果(資格・検定等)) 日本語能力試験(JLPT)、日本留学試験(EJU)
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76人	2人	3%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應・経済的理由など		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・出席不良者への電話連絡・個別面談・母国の保護者との連携 ・スクールカウンセラーとの面談 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	日本語学科(1年6か月)				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1.5年	昼	1200 単位時間/単位	1590 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1590単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		45人	45人	2人	5人	7人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画(シラバス)は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 評価は原則として定期試験、課題等により総合的に評価する。 評定は次の通りである。「90点以上:A+」「80点以上:A」「70点以上80点未満:B」「60点以上70点未満:C」、「60点未満:D」で、「D」は不合格。
卒業・進級の認定基準
(概要) 1年目、年間400単位時間以上の習得をもって進級とし、2年目800単位時間以上の習得をもって日本語学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。 学修支援等

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。 ・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34人 (100%)	27人 (79%)	4人 (12%)	3人 (9%)
(主な就職、業界等) 専門学校・大学への進学、翻訳業、事務職、サービス業など			
(就職指導内容) 校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本語能力試験（JLPT）、日本留学試験（EJU）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	3人	8%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学校生活不適合・経済的理由など		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・出席不良者への電話連絡・個別面談・母国の保護者との連携 ・スクールカウンセラーとの面談 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	日本文化教養学科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	800 単位時間/単位	1250 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			1250 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	83人	83人	3人	11人	14人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>(概要)</p> <p>授業計画(シラバス)は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>評価は原則として定期試験、課題等により総合的に評価する。 評定は次の通りである。「80点以上:A」「70点以上80点未満:B」「60点以上70点未満:C」、「60点未満:D」で、「D」は不合格。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>年間800単位時間以上の習得をもって進級とし、日本文化教養学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。 ・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

<p>卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
79人 (100%)	58人 (73%)	16人 (20%)	5人 (6%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>専門学校・大学への進学、サービス業、翻訳業、病院、飲食業など</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>日本語能力試験(JLPT)、日本留学試験(EJU)</p>			
<p>(備考)(任意記載事項)</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	5人	6%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更・学校生活不適應・経済的理由など</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席不良者への電話連絡・個別面談・母国の保護者との連携 ・スクールカウンセラーとの面談 など 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療事務総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700 単位時間/単位	1800 単位時間 /単位	660 単位時間 /単位	580 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3040 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		118人	0人	5人	11人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は「試験点・平常点」を60点、「出席点」を40点とし、総合評価は100点満点で算出する。 上記総合評価が60点以上の者に当該教科の履修を認定し、2020年度以降の評定は点数に応じて、90点以上「S」、89点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下「D」とし、59点以下は不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 年間850単位時間以上の習得をもって進級とし、医療事務総合学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） ・佐藤学園奨学金制度を整備し、進級生の中から成績優秀かつ、他の学生の模範となるなど、総合的に優秀な学生に奨学金を恵与します。 ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。 ・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56人 (100%)	0人 (0%)	55人 (98%)	1人 (2%)
（主な就職、業界等） 病院・医療機関・クリニック・診療所・調剤薬局など			

(就職指導内容) 校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など
(主な学修成果(資格・検定等)) 診療報酬請求事務認定試験、医療事務OA実務能力認定試験、電子カルテオペレーション検定、医師事務作業補助者実務能力認定試験、調剤事務管理士、サービス接遇検定(3級、2級)、秘書検定3級、Word検定2級、Excel検定2級など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
117人	6人	5%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学校生活不適応・経済的理由など		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・出席不良者への電話連絡・個別面談・保護者との連携 ・スクールカウンセラーとの面談 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	専門課程	医療福祉心理学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2550 単位時間/単位	2860 単位時間 /単位	630 単位時間 /単位	1100 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			4590 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	105人	0人	3人	22人	35人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画(シラバス)は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は「試験点・平常点」を60点、「出席点」を40点とし、総合評価は100点満点で算出する。 上記総合評価が60点以上の者に当該教科の履修を認定し、2020年度以降の評定は点数に応じて、90点以上「S」、89点~80点「A」、79点~70点「B」、69点~60点「C」、59点以下「D」とし、59点以下は不合格となる。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>年間850単位時間以上の習得をもって進級とし、医療福祉心理学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤学園奨学金制度を整備し、進級生の中から成績優秀かつ、他の学生の模範となるなど、総合的に優秀な学生に奨学金を恵与します。 ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。 ・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	23人 (79%)	6人 (21%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>精神科病院・地域活動支援センター・放課後等デイサービス・心療内科クリニック、児童福祉施設、就労移行支援事業所、高齢者施設、精神障害者グループホームなど</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>精神保健福祉士、保育士、ビジネス実務マナー検定、Word検定2級、Excel検定2級、介護初任者研修 など</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
106人	14人	13%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更・学校生活不適應・経済的理由など</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席不良者への電話連絡・個別面談・保護者との連携 ・スクールカウンセラーとの面談 など 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
バイオ 学科	100,000 円	980,000 円	547,500 円	
バイオ技術 学科 (昼間)	100,000 円	980,000 円	297,500 円	
日本文化 教養学科	100,000 円	850,000 円	131,400 円	
日本語学科 (2年)	60,000 円	570,000 円	59,500 円	
日本語学科 (1年6か月)	60,000 円	285,000 円	56,600 円	
医療事務 総合学科	100,000 円	900,000 円	198,500 円	
医療福祉 心理学科	100,000 円	900,000 円	398,500 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.obm.ac.jp/about/history.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 企業等の学校関係者への教育課程に関する情報提供を行い、フィードバックをいただくことで、より実社会のニーズに応じた学生指導を図る。 評価項目について、校長を責任者として翌年度に向けて定期的に会議等により改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ボゾリサーチセンター	2019年4月1日～2021年3月31日	企業等委員
株式会社総合水研究所	2019年4月1日～2021年3月31日	企業等委員
大阪市中央区地域振興会	2019年4月1日～2021年3月31日	地域住民
卒業生保護者	2019年4月1日～2021年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.obm.ac.jp
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.obm.ac.jp/about/history.html
--